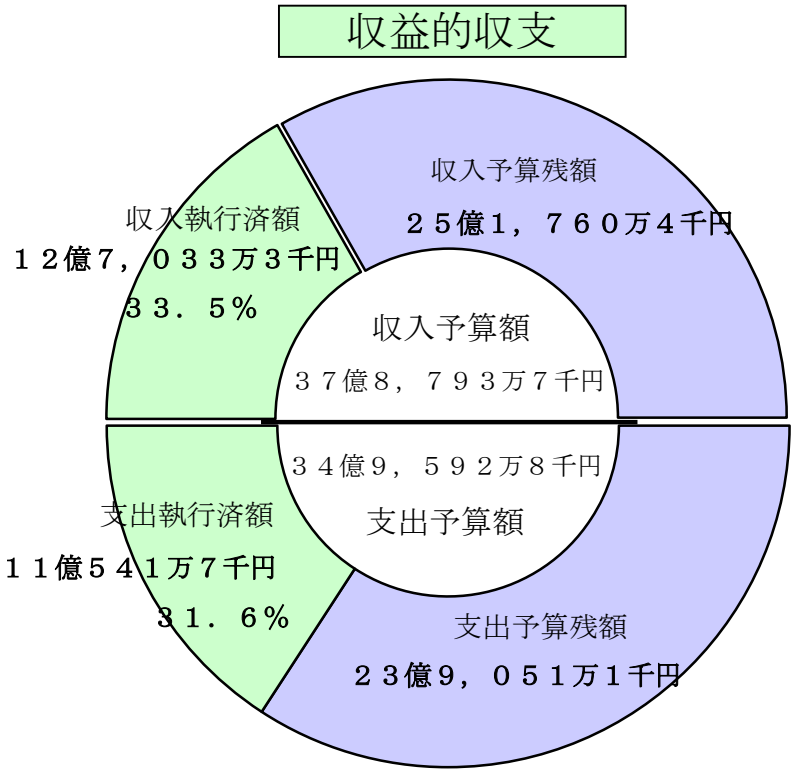
水道事業の業務状況

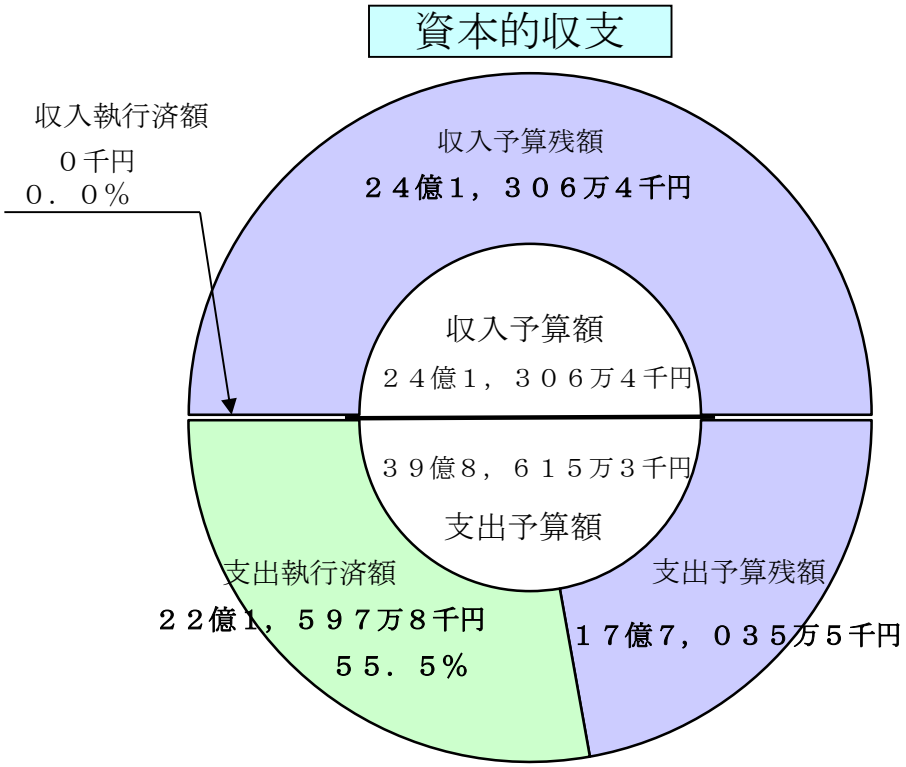
水道事業の普及状況，令和８年度予算執行状況及び令和７年度決算状況を公表します。

１．水道普及状況（令和８年９月３０日現在）

区　　分	令和８年度 上半期	令和７年度 上半期	比　較
給水区域内人口	150,732 人	152,136 人	△ 1,404 人
給水人口	147,480 人	148,898 人	△ 1,418 人
水道普及率 （給水人口÷給水区域内人口）	97.8 %	97.9 %	△ 0.1 %
給水量	8,781,264 ㎥	8,613,777 ㎥	167,487 ㎥
１日平均給水量	47,985 ㎥	47,070 ㎥	915 ㎥
有収水量	7,640,032 ㎥	7,803,041 ㎥	△ 163,009 ㎥
有収率 （有収水量÷給水量）	87.0 %	90.6 %	△ 3.6 %

２．令和８年度予算執行状況（消費税込）
（令和８年９月３０日現在）





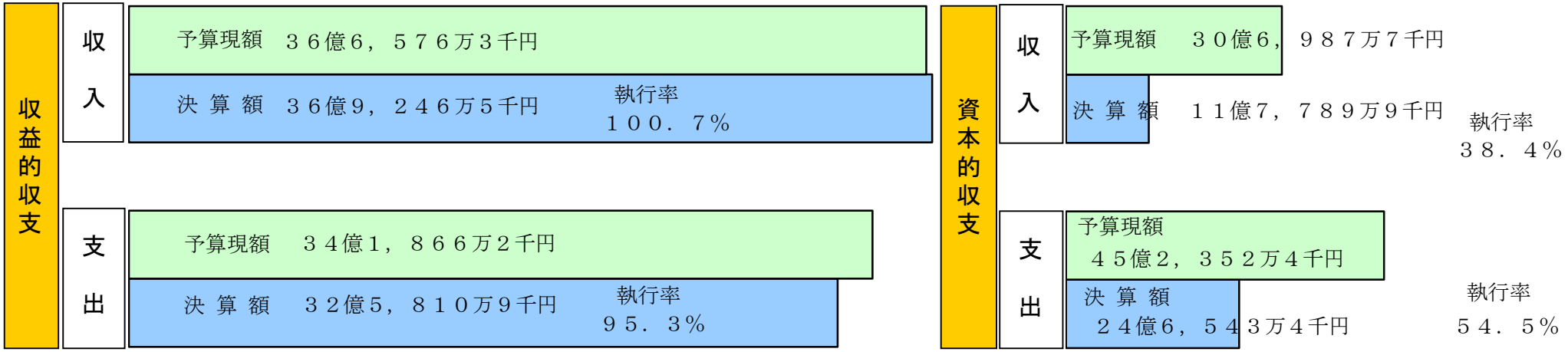
３．令和７年度決算状況

（１） 決算報告書（消費税込）

予算（予定又は計画）に対する実績を示したものがこの決算報告書です。

水道事業会計は事業活動の成果を明らかにし経営状況を把握するために，水道事業の経営活動に伴う収益的収入及び支出と，浄水場や配水管などの水道施設整備に伴う資本的収入及び支出の二本立てになっています。

収益的収支とは，水道料金を主とする収入と人件費，受水費，減価償却費，動力費，支払利息，物件費などの諸費用を支出としています。一方，資本的収支とは，施設の更新や拡充を図るために要する建設改良費などと，現有施設建設時に要した企業債償還金などの支出と，建設改良費に対する収入としての企業債，工事分担金，国庫支出金などを収入としています。なお，資本的収支において不足する額１２億８，７５３万５千円については，当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額や過年度損益勘定留保資金により補填しています。

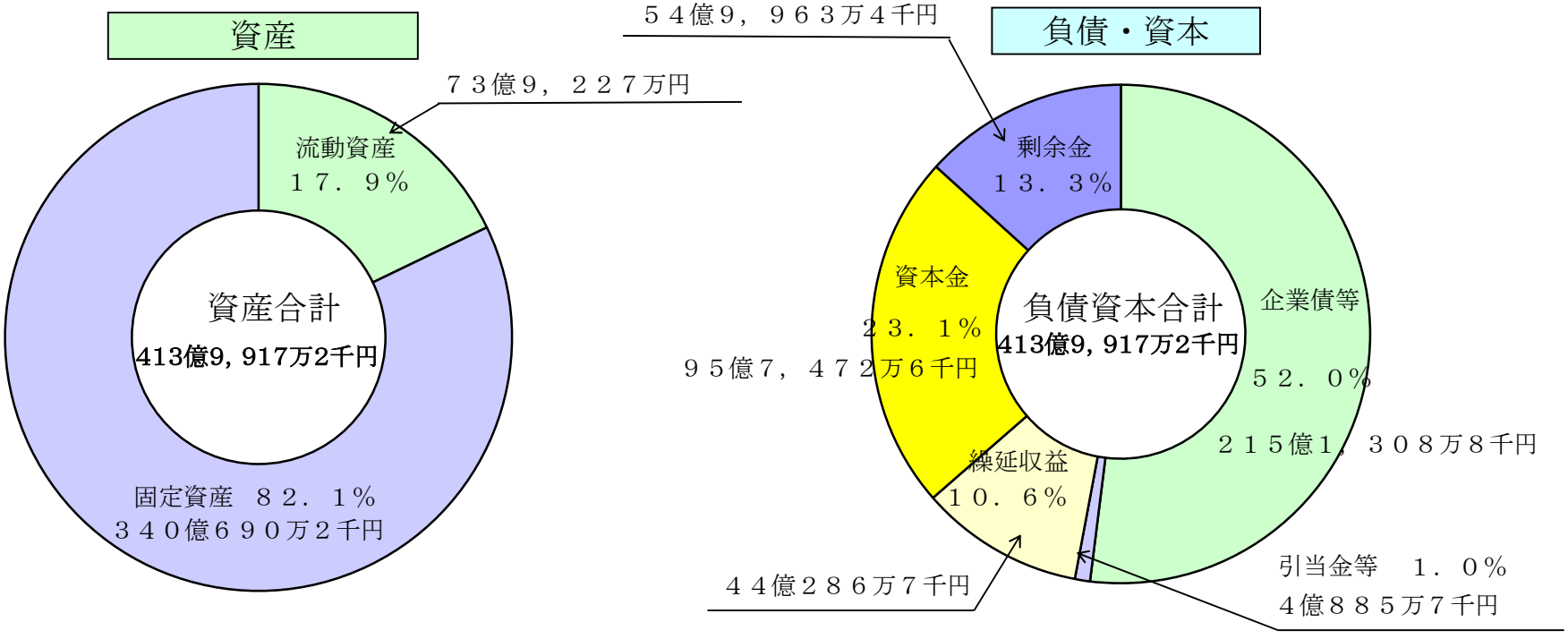


（３）貸借対照表（消費税抜）

貸借対照表は，公営企業としての財政状態を明らかにするため，令和８年３月３１日現在において保有するすべての資産，負債及び資本を総括的に表したものです。

資産合計は４１３億９，９１７万２千円で，そのうち８２．１％は水道事業の施設や設備等の固定資産で，１７．９％が現金預金や短期貸付金などの流動資産です。

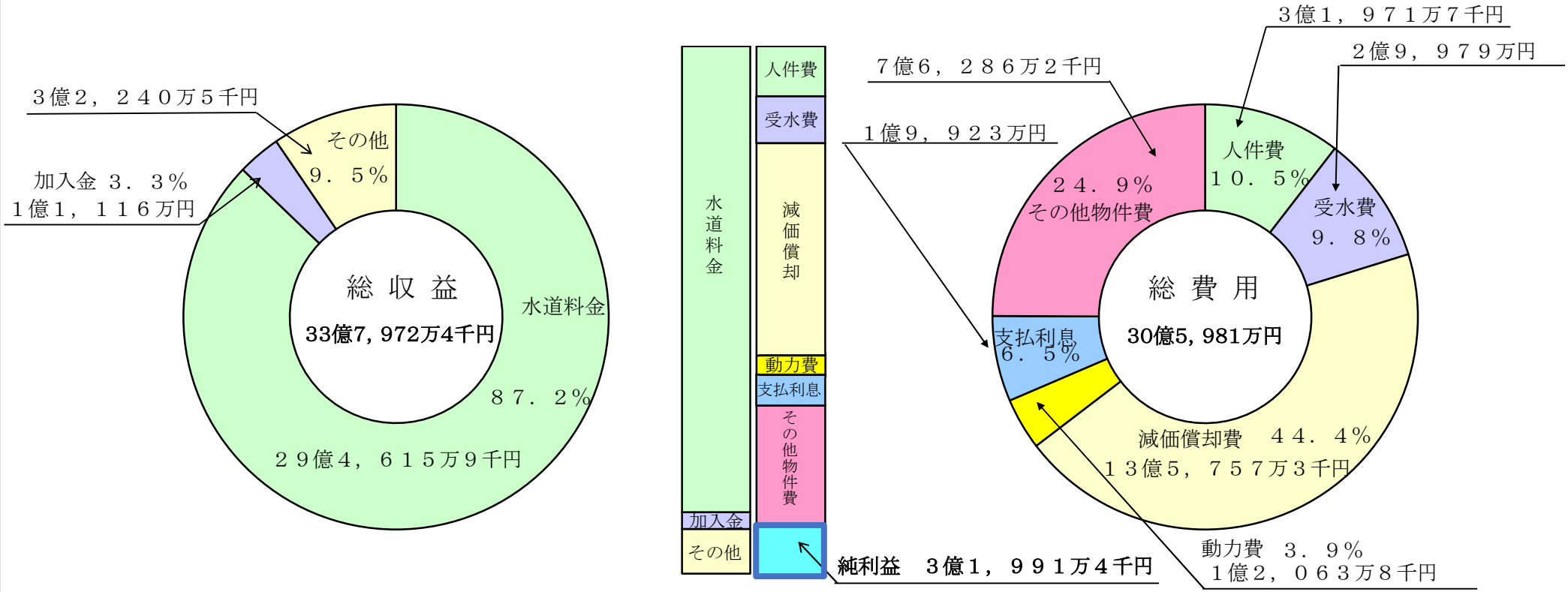
資産取得に要した資金源泉としての負債資本合計は総資産と同じ４１３億９，９１７万２千円で，そのうち６３．６％が負債（企業債及び繰延収益等）で，３６．４％が資本（資本金及び剰余金）となっています。



（２）　損益計算書（消費税抜）

　損益計算書は，営業期間内（令和７年４月１日～令和８年３月３１日）における水道事業の企業としての経済活動による経営状況を明らかにするために，その期間中に得たすべての収益と，これらに要したすべての費用を記載差引し，純損益を表したものです。

　令和７年度の総収益は，前年度に比べ０．１％減の３３億７，９７２万４千円，総費用については前年度に比べ２．６％減の３０億５，９８１万円で，差引純利益は３億１，９９１万４千円となりました。



（４）　給水原価（消費税抜）

有収水量(収益となった水)１m^3あたりにどれだけの費用がかかっているかを示しています。

